



やなぎ美智子からのお便り

メールアドレス：kangoshi03@outlook.jp

やなぎ携帯：090-1508-7120

6月市議会について

新年度最初の定例会となる6月議会は、6月7日(金)10時開会し、会期は、6月24日までの予定です。

議長選挙から始まり、様々な議題が審議されます。日本共産党の代表質問は、清水市議が行います。一般質問は、廣田市議、とくたけ市議、やなぎが行います。

やなぎは以下の質問を予定しています。

○インボイス制度について

1. インボイス制度開始後の現状について
2. 事業者支援について

○チケット75について

1. これまでの利用状況、今年度の申請状況
2. 利用者や、登録タクシー事業者からの要望

○精神障がい者の運賃割引制度について

1. 制度の概要や、対象者について
2. 制度開始に向けた準備状況と課題について

議会の報告は、7月の「やなぎ美智子からのお便り」や各地域での「議会報告会」で行います。

「国民健康保険に関する千葉県への要望書」 熊谷千葉県知事、岡田健康福祉部長に提出

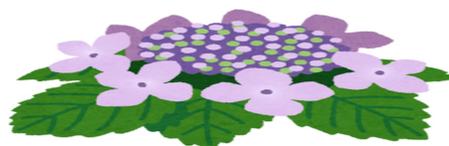
日本共産党千葉県委員会

日本共産党千葉県地方議員団

5月17日 千葉県庁

県民の中に、物価高騰や税の重さによる苦しみ広がっています。そのような中で、市町村の国民健康保険は、保険料・税が高すぎて加入世帯の13%（7軒に1軒）が払えないという異常な事態となっています。このような状況を少しでも改善していくために、千葉県に対して11項目の実現を求めて、要請行動を行いました。

各市から参加した議員が、深刻な実態を告発しました。県は「国民健康保険料・税が高くなり、負担感があると認識しています。特別な事情がある方は、市町村と十分な納付相談をして頂きたい。県は、市町村を指導していますが、あくまでも市町村が判断することです。収納対策は適切に指導しています」と市町村の責任に転嫁する回答でした。



とくたけ市議の発言と県の回答

市川市の国保値上げは、8年間据え置かれてきましたが、国保加入世帯の約60,000世帯中、滞納世帯は18,000世帯です。財産差し押さえは、令和3年307件、令和4年511件、令和5年790件と増加傾向です。保険税は今年度から値上げされ、市の考えに基づけば、令和12年には現在の約6.6倍になる可能性があります。昨年度、滞納者の自宅捜査が11件行われました。人権を無視した、収納対策目的の捜査はやるべきではありません。

県：収納対策としての捜査は効果があります。

廣田市議の発言と県の回答

マイナンバーカードは、任意と言いつつ、市川市は短期保険証をなくし、資格証明書を発行することです。資格証明書の発行は中止すべきです。

県：資格証明書の発行は、接触の機会にするためです。

日本共産党市川市議団4人全員が参加しました。午前が、国民健康保険に関する要望、午後が、千葉県の教育行政に関する要望でした。国保に関する、とくたけ市議と廣田市議の発言を紹介します。

無料法律相談 6月11日(火) 7月9日(火)

午後2時～5時 相談時間は一人30分

市役所第一庁舎6階 日本共産党控室 相談を希望される方は事前予約が必要です。市役所共産党控室か、やなぎ美智子にご連絡ください。

電話：047-334-1111 (内線 18220)

市民アンケートの回答が、続々と届いています お寄せいただいた要望と、対応の一例をご紹介します

現地を見て、市の担当課に状況説明しました。要望された方にお会いし、地域の役員の方からもお話を聞きました。



空家について
敷地内や玄関前に枯葉が山のようになっていて、タバコの吸い殻でも放られたら火事になると思います、親族に連絡できないかと思う、市役所に電話しました。個人情報だからと断られました。交番に行っても、同様の理由で断られました。放置された草木が伸び放題です。やむなく、近隣住民の方が剪定しています。市として何とかして頂けないでしょうか。
若宮3丁目在住

ミニ集いを行いました

5月11日午後、若宮地域の後援会ニュース読者のみなさんとミニ集い（お茶会）を行いました。以前から「いろいろと、聞きたいこと・話したいことが沢山あるので、時間をとってほしい」と頼まれていました。みなさんから市政、暮らしへの質問や要望が出されました。



- ☆市役所の窓口は、丁寧に対応してほしい
- ☆生活保護の申請や審査はどのようなものか
- ☆下水道への接続費用が高いが、算定方法を知りたい
- ☆地域のスーパーマーケットの品揃えが若い人向けになっている。精肉は種類も揃っているが、鮮魚がない。若宮地区は高齢者が多いから、ぜひ鮮魚を置いてほしい

拉致問題についての疑問、自民党の裏金問題への批判が出されました。生活保護制度についての意見が出され、私は朝日健二さんと共に、生存権裁判の支援活動をしたことを紹介しました。（朝日健二さんは、朝日訴訟原告の朝日茂さんの養子になり、生存権裁判を引き継いだ方です）

「また、お茶会をやりましょう」と約束して散会しました。

真間川の桜並木について
真間川沿いに桜の古木が多くあり、とても危険に思っています。台風がきたら、川側に折れて、川がせき止められたら、氾濫して危ないと思います。自宅が、川沿いにあるので、とても心配です。
八幡6丁目在住



**右上のアンケートがお手元にある方は、ぜひ、声をお寄せください
ご協力をお願いします**

公園について
高齢者が、フラックと行ける公園にしてください。トイレ、ベンチ、カフェの設置充実を要望します。
施設入所者の選挙投票
投票するハードルが高く、自分たちの意見は聞かなくともよいと思われる。スムーズに投票できるようにしてください。

「市川三番瀬を守る会」が2024年度総会を開催

5月18日（土）午後、南行徳市民センターで、総会と「学習と意見交換」が行われました。学習の主なテーマは、「塩浜2丁目の海岸に、干潮時に出現する高さで、航路の浚渫で出た土砂による覆砂を行い、市民が直接、海に触れることができるようにする計画」についてです。

市は、モニタリング調査を2023年10月実施、2024年6月頃に2回目の調査を実施予定です。2024年末に、モニタリング調査の評価を行い、ホームページで公表するとしています。

市川三番瀬を守る会など三番瀬7団体は2023年10月31日、この計画の見直しを求める市川市長あての要望書を提出しました。行徳支所との懇談も行っています。



三番瀬を守る連絡会の中山敏則代表世話人の話を聞く参加者のみなさん